

1人1台時代の

ICT活用

第13回

ICT環境で、教室と
世界をつなぐ
— 探究的な学びを実現

探究的な学びとICT環境整備は
二重苦なのか？

いよいよ全国の高校でスタートする新学習指導要領。「総合的な探究の時間」や「教科横断的な学び」など、新たな学びへのチャレンジと同時並行的に推進されているのがICT環境の整備と実践です。捉えようによっては、この「学びの変化」と「環境の変化」が一度に押し寄せ、ただでさえ忙しい教員の負荷を一層重くしてしまうようにも見えます。新たな時代に適応する変化に常に負担は伴いますから、そうした

杉浦太一（株式会社Inspire High代表取締役）

側面を否定しきることはできません。一方で、私は逆の視点で、探究的な学びをより豊かに、より手軽に全国の先生方に実践いただくためにも、ICT環境の整備とその活用は、不可欠であると考えています。

世界とつながる、探究的な学びを、
手軽に教室で

Inspire High（インスパニア・ハイ）は、「①世界とつながる、②探究的な学びを、③手軽に教室で」をコンセプトにしたオンライン型の探究キャリア教材です。令和3年度から正式に提供を開始し、全国の中高の探究学習、キャリア学習、SDGs学習において広く活用いただいています。

①世界とつながる

台湾のデジタル担当大臣オードリー・タンさんや、マサイ族の長老、オーストラリアで森林火災の最前線で気候危機に立ち向かう消防士、詩人の谷川俊太郎さんや、生徒に人気の声優やミュージシャンなど、世界中でクリエイティブに生きる大人（ガイド）の生き方や価値観に触れる動画を見て、生徒の好奇心を刺激します。SDGsをお題目として学ぶのではなく、自らの人生のテーマにしている大人からメッセージを聞くことができるのもICTならではの学びです。

②探究的な学びを

また、生徒はガイドの話を参考に、授業時間内に「答えのない問い」に自分の端末を使って挑戦。自らの創造性を引き



世界中の大人の生き方にふれる

実際にICT環境を整備し、Inspire Highを活用いただいている戸田市教育委員会の教育長・戸ヶ崎勤氏は

教育委員会や
学校の反応

ン、事前の授業準備など、先生の負荷は膨大です。これらすべてを解決し、手軽に実践できるのはICT環境あってこそです。

出します。たとえば「あなたが大切にしたい価値観はなんですか?」「変えたい社会の風景はなんですか?」などなど。「あの生徒がこんなことを考えていたなんて知らなかった」と、先生方からコメントをよくいただきますが、面と向かつて自分の思いを表現しづらい若者にとって、ICTの学びは心理的安全性が担保された空間でもあるのです。

③**手軽に教室で**

こうしたInspire Highの双方向で創造的な学習体験をICTなしで実現しようとする、講演者の手配、ワークシートの印刷や配布、生徒の主体性を引き出すファシリテーション

「学校が、『答え探し』から『答えづくり』のクリエイティブでワクワクする学びの場へと転換するために、Inspire Highのような社会に開かれた『本物に出会える』探究プログラムが今こそ必要なのではないでしょうか」と、手応えを感じていらっしやいます。新渡戸文化中学校・高等学校の山本崇雄氏は、「インスパイアハ이의動画はこれからの時代に必要なコンピテンシーの大切さをリアル社会で活躍する大人の言葉を通して学ぶことができます」とコメントくださっています。ICTを活用した学びは「個別最適な学び」にフォーカスされがちですが、両氏がおっしゃる通り、探究学習やコンピテンシー教育にも大きな価値をもたらしうと思っています。

産学官で挑む、数百年に一度の分岐点

文部科学省によるICT環境整備の支援はもちろん、経済産業省による『EdTech導入補助金』など、国からの力強いサポートを受けることで、我々民間事業者も一校一校と向き合うことができ、学校や先生の負荷を最小限に抑えていく環境が実現しつつあります。ICTをフル活用し、この産業革命以来最大の教育の転換点を、皆さまと共によりよいものにしていくたらと思っています。

※Inspire High オフィシャルサイト

QRコード



(一社) ICT CONNECT 21 ―「教育の情報化」に係る皆さまにオープンな場を提供し、コネクトすることで教育を良くしていく団体。教育とICTについての情報を毎週メルマガで配信中!